

1月17日（月）

阪神淡路大震災から27年経つんですね。あの日の朝のこと、その日一日の報道は今も鮮明に覚えています。あの日、大きな揺れで目を覚ましました。古い家だったので、かなりギシギシと大きな音とともに開き戸式になっていた箆笥の扉が開き、バタバタと開いたり閉じたりしていました。私は2歳の娘の上に覆いかぶさり、天井が落ちてこないことを祈りました。と同時に、揺れが収まったら外に出る方がいいと考えました。しばらくして揺れは収まりましたが、ラジオからはビルが斜めになっているとか、電線が垂れ下がって火花を放っているとか、不気味な様子を伝えていました。

私はこの日、樫辻町の神社の祭りがあって、午前中は休みをもらっていたので、祭りに行っていた時間以外は、自宅でニュース番組を見ていました。そのニュース番組では1時間ごとに死者の数を伝えていましたが、その数は千単位で増えていきました。昼前の番組では、「また大きな余震が始まりました」と言った数秒後に、自宅も揺れました。

一週間後、親戚のある兵庫県武庫之荘に行きました。電車は満員です。私は登山用のリュックに紙パックの水を詰めるだけ詰めていました。めちゃくちゃ重たかったですが、親戚の人には大変喜んでもらいました。町は崩れた家が多く、ガス臭かったです。親戚はマンションに住んでいましたが、そのマンションもやや傾いていました。怖かったですが、中に入り、親戚が住む部屋の散らかったものを片付けました。片付けられるだけ、ましだと思いました。崩壊した家では、片付けるなんてもんじゃありませんからね。

南海、東南海地震が起きたら、もっとひどい状況になるんだろうなと思います。起きてほしくないですけど、その日に備えなければなりません。